

重点テーマ I : 持続的なみどりづくりに向けた仕組みづくり

A…概ね実施した B…実施したが、一部不十分であった C…未実施

| 取り組み名 | 目的 | 4年間の実績 | 評価 |
|-------------------------------------|---------------------|---|----|
| 1-1 市民活動の誘発と支援 | みどりづくりへの参加促進 | ・アダプト団体を対象とした講習会の開催、イベントや園芸講座等を通じたみどりづくりの体験の場の提供などにより、市民の緑化活動を誘発・支援した。 ・市民団体と連携し、里山学校でボランティア活動を体験できる講座を実施した。 | A |
| 1-2 市民がみどりに親しめるイベントの開催や表彰制度の創設検討 | みどりづくりへの参加促進 | ・緑化フェスティバルや菊花展について、イベント内容を毎年改善しながら開催した。 ・みどりのプラットフォームにおいて、キックオフシンポジウムの開催や実験的な小イベントを複数回実施した。 ・表彰制度の要否について検討した。 | A |
| 1-4 市民団体との協働によるみどりづくりのリーダー等の育成 | みどりづくりの活動を促進するための支援 | ・地域で先導的に緑化に取り組んでもらえるよう、アダプト団体を対象に小菊栽培連続講座を実施した。 | B |
| 1-6 協働によるみどりづくりのルール作成と普及・啓発 | みどりづくりの活動を促進するための支援 | ・アダプト団体へみどりづくりのルールの啓発を実施した。 | A |
| 1-7 多様な主体のプラットフォームづくり | みどりづくりの活動を促進するための支援 | ・多様な主体が連携し、みどりに関してコーディネートを行うみどりのプラットフォームを立ち上げた。 ・森づくり委員会や里山保全団体との意見交換会等、里谷に関わる多様な主体の会議を行った。 | A |
| 1-8 近隣市との連携体制の強化 | みどりづくりの活動を促進するための支援 | ・近隣市で構成された会議体において、研修会への参加や情報交換を行った。 | A |
| 1-10 みどりに関する情報提供と情報共有の強化・充実 | 新たな周知方法や浸透を深める手法の検討 | ・メールマガジンの配信やホームページの更新頻度の向上などにより、みどりに関するイベント等の情報提供を強化した。 ・枚方ふるさといきもの調査を実施した。 ・サブリ村野にて枚方いきもの調査等に関するパネル展示を行い情報提供をした。 ・緑被率調査を実施した。 | A |
| 1-11 みどりについて学び理解を深める機会の充実 | 新たな周知方法や浸透を深める手法の検討 | ・緑化フェスティバルにおいて、みどりの相談窓口を実施した。 ・アダプト団体や自治会対象の講座や出前講座等を実施した。 | A |
| 1-12 みどりに関する学校教育の充実 | 新たな周知方法や浸透を深める手法の検討 | ・環境副読本の項目「みどりの種類とはたらき」を新規作成し、掲載した。 | B |
| 1-13 花や苗木などの提供推進 | みどりとふれあう機会の充実 | ・新生児誕生記念苗木の配布時期の拡充を検討した。 ・福祉施設での花苗育成事業(花いっぱい健康づくりプロジェクト)を開始し、育った苗を公園のアダプト団体へ提供した。 | A |
| 1-14 市民等による優れたみどりの発掘やふれあう機会の創出 | みどりとふれあう機会の充実 | ・みどりのプラットフォームにて、魅力のある公園やみどりのスポットを楽しむためのマップを作成した。 | A |
| 1-15 みどりづくりの財源の拡充検討 | 財源確保の仕組みづくり | ・公園内の自動販売機の売り上げの一部を公園の維持管理に活用した。 ・ふるさと寄附金推進事業の対象基金に「枚方市花と緑のまちづくり基金」を追加し、4年間で約1,300万円の寄附を得るなど、基金の財源確保を行った。 | A |

重点テーマ I : 持続的なみどりづくりに向けた仕組みづくり

A…概ね実施した B…実施したが、一部不十分であった C…未実施

| 取り組み名 | 目的 | 4年間の実績 | 評価 |
|--|-------------|--|----|
| 1-16 みどりのスポンサー制度の導入検討 | 財源確保の仕組みづくり | ・岡東中央公園のネーミングライツを公募し、ネーミングライツ料を同公園の維持管理費等に充当した。 | A |
| 1-20 未着手・未完成の都市計画公園・緑地の見直しと整備の方向性の再検討 | 効率的な事業展開 | ・「都市計画公園及び緑地の見直しの取り組み」に基づき、計画施設の存続と廃止の決定を行った。 ・未着手の都市計画公園の事業スケジュールの確認を行うと共に、未完成の都市計画公園の範囲や整備手法について検討を行った。 | A |

重点テーマⅡ：緑化重点地区における取り組み

A…概ね実施した B…実施したが、一部不十分であった C…未実施

| 取り組み名 | 目的 | 4年間の実績 | 評価 |
|--|---------------|---|----|
| 3-12 市民や事業者との協働による 公園等の維持管理の推進 | 適切な維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・アダプト事業により、公共空間における緑化を継続した。 ・アダプトプログラム団体との意見交換を行い、芝刈り機ヘルメットの貸出等、支援メニューを拡充した。 ・清掃用具等の支援や市民公益活動保険の加入受付を行った。 ・FM、広報ひらかた、ホームページ等で、アダプトプログラム活動について周知PRを行った。 | A |
| 4-2 地域交流の場となる拠点づくり への支援 | 住宅地のみどりの創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の場となり得る未利用地の調査を行った。(対象となる候補地なし) | A |
| 4-6 ゆとりを感じる緑化空間の 形成促進 | 商業地の緑化 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の植栽の管理や、市民団体との協働による本庁花壇の整備などを継続して行った。 ・枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の都市計画決定に合わせて、緑化率の最低限度を定める地区計画を決定した。 | A |
| 4-7 周辺地域に配慮したみどりの 創出に向けた誘導策の導入検 討 | 商業地の緑化 | <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府自然環境保全条例による緑化指導を行った。 ・開発協議等の中で、周辺地域に配慮したみどりの創出について協議を行った。 | A |
| 4-8 敷地内の多様なみどりの創出 | 商業地の緑化 | <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくり事業による屋上や壁面の緑化への支援について、申請はなかったものの、より申請がしやすくなるよう要綱の見直しやPRの工夫を行った。 | A |
| 4-14 公共公益施設内の緑化目標 の引き上げ検討 | 公共公益施設のみどりの創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共公益施設の緑化運用基準を新たに作成した。 ・同基準の対象となる(仮称)枚方市総合文化芸術センター建設工事について、基準に基づいて協議を行い、設計や工事を進めた。 | A |

重点テーマⅢ：みどりの土地利用に応じたきめ細やかな緑化推進

※緑化重点地区や東部里山地域を除いた地域での、みどりの土地利用ごとの取り組み

A…概ね実施した B…実施したが、一部不十分であった C…未実施

| 取り組み名 | 目的 | 4年間の実績 | 評価 |
|---|-----------------|---|----|
| 2-26 開発時の緑地確保策の 拡充検討 | 農地の保全 | ・市開発手続条例や大阪府自然環境保全条例に基づく緑化指導を継続して行った。 ・緑地協定の締結等を検討した。(対象となる候補地なし) | B |
| 2-28 防災協力農地制度の検討 | 農地の保全 | ・防災協力農地に関する他市の先行事例などを調査し、情報収集を行った。 ・枚方市農業振興協議会にて、防災協力農地制度について情報共有や協議、検討を行った。 | B |
| 2-33 開発時の緑地確保策の 拡充検討 | 社寺林・孤立林等の 保全 | ・市開発手続条例や大阪府自然環境保全条例に基づく緑化指導を継続して行った。 ・緑地協定の締結等を検討した。(対象となる候補地なし) | B |
| 3-3 都市公園の整備・ リニューアルの推進 | 公園の再生・再編・整備 | ・東部公園第2期整備区域、星丘公園、百済寺跡公園、天満川緑道、香里ヶ丘中央公園等の整備や改修を実施した。 | A |
| 3-7 未着手・未完成の都市計画公園 ・緑地の見直しと整備の 方向性の再検討 | 公園の再生・再編・整備 | ・「都市計画公園及び緑地の見直しの取り組み」に基づき、計画施設の存続と廃止の決定を行った。 ・未着手の都市計画公園の事業スケジュールの確認を行うと共に、未完成の都市計画公園の範囲や整備手法について検討を行った。 | A |
| 3-8 遊びやレクリエーションを通じて 自然を学ぶ場所の創出 | 公園の再生・再編・整備 | ・公共未利用地を活用し、香里ヶ丘にプレーパーク(冒険遊び場)を新たに開設した。 | A |
| 3-12 市民や事業者との協働による 公園等の維持管理の促進 | 適切な維持管理 | ・アダプト事業により、公共空間における緑化を継続した。 ・アダプトプログラム団体との意見交換を行い、芝刈り機ヘルメットの貸出等、支援メニューを拡充した。 ・清掃用具等の支援や市民公益活動保険の加入受付を行った。 ・FM、広報ひらかた、ホームページ等で、アダプトプログラム活動について周知PRを行った。 | A |
| 3-16 道路整備時の緑化推進 | 道路沿道のみどりの 充実 | ・新規道路設計の際には、沿道状況を把握して植樹帯の検討を行い、植樹した。 ・中央分離帯や歩道部における緑化について、定期的に剪定するなどして適切な維持管理を継続した。 | A |
| 3-19 市民や事業者との協働による 道路や河川の維持管理の促進 | 適切な維持管理 | ・アダプト事業により、公共空間における緑化を継続した。 ・アダプトプログラム団体との意見交換を行い、芝刈り機ヘルメットの貸出等、支援メニューを拡充した。 ・清掃用具等の支援や市民公益活動保険の加入受付を行った。 ・FM、広報ひらかた、ホームページ等で、アダプトプログラム活動について周知PRを行った。 | A |
| 4-1 庭の花壇や生け垣の増加、 壁面緑化の促進 | 住宅地のみどりの創出 | ・花と緑のまちづくり事業(施設緑化事業)について、現状に即して見直しを行い、個人宅等での花壇整備や生垣緑化等に対する支援を行った。 | A |

重点テーマⅢ：みどりの土地利用に応じたきめ細やかな緑化推進

※緑化重点地区や東部里山地域を除いた地域での、みどりの土地利用ごとの取り組み

A…概ね実施した B…実施したが、一部不十分であった C…未実施

| 取り組み名 | 目的 | 4年間の実績 | 評価 |
|-------------------------------------|---------------|---|----|
| 4-2 地域交流の場となる拠点づくりへの支援 | 住宅地のみどりの創出 | ・花と緑のまちづくり事業(拠点づくり事業)により、公園等での地域交流の拠点づくりに対する支援を行った。 ・地域交流の場となり得る未利用地の調査を行った。(対象となる候補地なし) | A |
| 4-3 地域制緑地によるまちなかのみどりづくりの推進 | 住宅地のみどりの創出 | ・緑地協定の締結等を検討した。(対象となる候補地なし) | B |
| 4-4 良質のみどりの保全策の導入検討 | 住宅地のみどりの保全 | ・保存樹木・樹林について、適切な保全策を検討するための実態調査を実施した。 ・保存樹木・樹林の新たな指定に向けた候補地の検討を行った。(対象となる候補地なし) ・緑地保全地域の指定等を検討した。(適切な候補地なし) | B |
| 4-5 みどりのスポンサー制度の導入検討 | 商業地の緑化 | ・公園等のネーミングライツを募集した。 | B |
| 4-7 周辺地域に配慮したみどりの創出に向けた誘導策の導入検討 | 商業地の緑化 | ・市開発手続条例や大阪府自然環境保全条例に基づき、敷地外周部への緑地の配置等、効果的な緑化指導を継続して行った。 | A |
| 4-8 敷地内の多様なみどりの創出 | 商業地の緑化 | ・花と緑のまちづくり事業による屋上や壁面の緑化への支援について、申請はなかったものの、より申請がしやすくなるよう要綱の見直しやPRの工夫を行った。 | A |
| 4-10 周辺地域に配慮したみどりの創出に向けた誘導策の導入検討 | 工業地の緑化 | ・市開発手続条例や大阪府自然環境保全条例に基づき、敷地外周部への緑地の配置等、効果的な緑化指導を継続して行った。 ・工場立地法に基づく届出に対して緑地面積の確認を行う等、適正に対応した。 | A |
| 4-11 敷地内の多様なみどりの創出 | 工業地の緑化 | ・花と緑のまちづくり事業による屋上や壁面の緑化への支援について、申請はなかったものの、より申請がしやすくなるよう要綱の見直しやPRの工夫を行った。 | A |
| 4-12 学習環境整備PFI事業や種花事業等の推進 | 公共公益施設のみどりの創出 | ・種花事業について導入の検討を行った。 ・学習環境整備PFI事業による緑のじゅうたん、緑のカーテンなどの緑化を実施した。 ・小学校の芝生化事業を、事業が完了する平成29年度まで行った。 | A |
| 4-14 公共公益施設内の緑化目標の引き上げ検討 | 公共公益施設のみどりの創出 | ・公共公益施設の緑化運用基準を新たに作成した。 ・同基準の対象となる枚方市立香里ヶ丘図書館について、基準に基づいて協議を行い、設計や工事を進めた。 | A |
| 4-15 学校のみどりの維持管理の質の向上 | 公共公益施設のみどりの保全 | ・小中学校の校務員等を対象に、平成29年度に樹木の剪定方法の講習会を実施した。 | A |
| 4-16 大学のみどりの保全の仕組みづくり | 公共公益施設のみどりの保全 | ・大学のみどりの保全策の調査や研究については未実施。 | C |

重点テーマⅢ：みどりの土地利用に応じたきめ細やかな緑化推進

※緑化重点地区や東部里山地域を除いた地域での、みどりの土地利用ごとの取り組み

A…概ね実施した B…実施したが、一部不十分であった C…未実施

| 取り組み名 | 目的 | 4年間の実績 | 評価 |
|-------------------------------------|---------------|--|----|
| 4-17 周辺地域に配慮したみどりの創出に向けた誘導策の導入検討 | 公共公益施設のみどりの保全 | ・市開発手続条例や大阪府自然環境保全条例に基づき、敷地外周部への緑地の配置等、効果的な緑化指導を継続して行った。 | A |

重点テーマⅣ：保全配慮地区（東部里山地域）での取り組み

A…概ね実施した B…実施したが、一部不十分であった C…未実施

| 取り組み名 | 目的 | 4年間の実績 | 評価 |
|--|------------------|--|----|
| 2-1 市民参画による枚方市里山保全基本計画の改定 | 里山の自然環境の保全、維持・回復 | ・枚方市里山保全基本計画の改定を行った。 | A |
| 2-2 多様な主体と連携した里山の保全・活用のモデル地区の導入検討 | 里山の自然環境の保全、維持・回復 | ・多様な主体と連携した取り組みの一つとして、市政70周年記念事業の山桜コンサートを実施した。 | B |
| 2-5 市民や市民団体との協働による防災機能の高い森林づくり | 里山の自然環境の保全、維持・回復 | ・森林・山村多面的機能発揮対策事業を活用し、津田・穂谷地区において地元の支援を行った。 ・里山保全活動団体に対し、補助金の交付や樹木粉碎機の貸出などを実施した。 ・保安林の指定を継続した。また、保安林の新たな追加指定については候補地なし。 ・治山事業（復旧治山）を3地区で実施した。 | A |
| 2-6 地元と連携した里山の周知・PR | 里山の活用の促進 | ・里山保全活動団体との意見交換会や森づくり委員会を実施し、地権者や市民団体との里山保全に関する意識の共有を図った。 ・広報で特集記事を組むなど周知の強化を図り、地権者の意識啓発につなげた。 | A |
| 2-8 自然観察や森林療法、健康増進等の場としての里山の活用 | 里山の活用の促進 | ・里山ウォーキングを毎年実施した。 ・環境副読本に環境出前事業メニュー「里山をお散歩しよう！」を掲載した。 ・穂谷の自然農園の見学会等を開催した。 ・小学校、中学校の学校キャンプや天体観測、里山保全団体による里山保全講座を開催した。 | A |
| 2-9 事業者の社会・環境貢献活動の場としての里山の活用 | 里山の活用の促進 | ・里山保全団体へのCSR受け入れ可能状況を調査した。 ・事業者にCSR活動について周知し、コーディネートを行った。 | A |
| 2-10 市民団体との協働による誰もが里山の魅力を体験できる場所づくり | 里山の活用の促進 | ・里山活動保全団体の活動を体験できる「里山楽校」を毎年実施した。 ・公共未利用地等を活用し、市民や市民団体と連携しながら、森林ボランティア育成事業を実施した。 ・プレーパークの整備検討については、まずはまちなかで整備し、実施することとした。 | A |
| 2-11 市民団体との協働による里山での活動を支えるインフラ整備 | 維持管理の強化 | ・大雨や台風被害があった作業道等について、行政と里山保全活動団体や地権者との協働で復旧を行った。 | A |
| 2-12 多様な主体のプラットフォームづくり | 維持管理の強化 | ・里山保全活動団体との意見交換会や、森づくり委員会などを時期や回数を適宜見直しながら開催した。 | A |
| 2-13 市民活動の誘発と支援 | 維持管理の強化 | ・里山活動保全団体の活動を体験できる「里山楽校」を毎年実施した。 ・森林スペシャリスト育成講座を実施し、より専門性を身につけた人材の育成を支援した。 | A |